

協議事項②SDG s とその取り組みについて

担当者からの説明後の質疑（下線部は井上）

- 斉藤議員 事業採択は、決定されたのか。
- 山本企画環境課長 まだ決まっていないが、来週中には決定される。
- 浜本議員 開発予定地はどこか。
- 山本企画環境課長 想定している場所は、XXさんの土地と一部財務省の号線が含まれる。XXさんとは、さくら団地の隣接地に関して、昨年度土地開発公社で宅地開発の計画をさせてほしいという話しをしている。
- 浜本議員 計画範囲がこの図面のおりならば、土地の形状が悪いのではないかと。半分くらいは傾斜地だ。土地の提供を公募で行う考えはないのか。
- 山本企画環境課長 さくら団地の隣接地を開発したいとの考えから始まっている。
- 高橋議長（土地開発公社の理事であることから）3年前から土地を探している。町内で何か所か見た中でこの場所を選んだ。冬の除雪で、排雪するにしても沢の方へ雪を推(マ)す場所が確保できるなどを見込んでいます。
- 青葉議員 町民から不信を持たれやすい計画だ。この土地はかつて運動公園整備計画のあった土地。購入を前提とした計画であると思えない。運動公園計画はどうなったのか。
- 山本企画環境課長 昨年7月の調査段階で、全体の土地を売ってもらえるという話しは、XXさんからもらっている。
- 浜本議員 全部で9ヘクタールということだが、すべて購入しなければならないのか。半分でも可能か。
- 猪狩副議長 9ヘクタールすべてを利用する計画はできているのか。きちんとした計画を立てなければ、途中でとん挫するのでは。
- 山本企画環境課長 今年、計画を立てるために、今後補正予算を出す。
- 篠原議員 ①農地の部分はどのように扱うのか。②分譲地として売るために、町が建物の高性能化など条件面で規制をして販売するということか。
- 山本企画環境課長 ①農地は、現況で半分程度は耕作していない荒廃地化している。残りも農業委員会に申請して、すべて転用する。傾斜地でも宅地化は可能だし、条件不利な土地は、雪捨て場や小規模なエネルギーセンター(雪氷熱等)に活用する。
- 篠原議員 人口減少時代を迎えて、土地の売れ方はかつてのような開発すればすぐに完売という状況は見込めないのでは。
- 山本企画環境課長 戸建住宅だけでなく、高気密集合住宅用地としての需要が見込める。住宅需要のアンケートでは、住宅がなくて、町外からニセコ町に働きに来ている人が500人程度いることも、需要があると見込んでいる点。
- 篠原議員 国は、どんどん経済を回していく方向にある。ニセコ町はその施策に乗っているが、立ち止まって考える時期に来ているのではないかと。
- 三谷議員 常にそうした仕事の仕方をしている点、どうなのかと。企画環境課は、環境モデル都市としての業務量が多い。これを行うことで、職員は大丈夫なのか、他課との連携もあるだろうが、他課も相当な業務量を抱えている。